

物品及び委託契約における市内中小企業者の受注機会の増大

1 平成 23 年度の受注機会増大に向けた取組

経済局では、23 年度当初、市内中小企業者への発注が原則であることをあらためて局内に周知するとともに、個別の契約同等の審査や、業者選定委員会での審議において、対象事業者の所在区分及び企業規模の確認、市内中小企業者以外への発注が必要な場合の選定理由書添付といった手続きをルール化することなどにより、市内中小企業者の受注機会の増大に努めているか、チェックを徹底してまいりました。

しかし、23 年度契約実績における市内中小企業者の構成比率は、件数で 83.4%、金額で 77.7% となっており、主に以下のような要因により、前年度から、件数で 2.4 ポイント、金額で 17.6 ポイントの減となっています。

【主な要因】

物品⇒・22 年度に市内中小企業へ発注した備品や設備の修繕が終了したこと。

・食肉市場で使用する特殊な薬品を扱う事業者が市内に不存在であること。等

委託⇒・22 年度に県基金を活用し、市内中小企業に発注した委託業務が終了したこと。等

2 今後の受注機会増大に向けた取組の方向性

各種発注事務を進める中で、引き続き、対象事業者の所在地や規模の確認、市内中小企業者以外へ発注する場合の理由確認を徹底してまいります。

なお、23 年度から、局内の備品・消耗品の発注事務を原則として総務課に集約しており、この中で、適正な予算執行及び契約手続きの透明性・競争性確保に留意しつつ、市内中小企業者の受注機会増大に努めてまいります。

市内中小企業者への発注状況（経済局契約分）

区分	契約実績（単独随意契約及び大規模契約を除く）								単独随意契約及び大規模契約の合計		
	市内中小企業契約実績						件数	金額	件数	金額	
	件数	構成比率	前年度からの増減	金額	構成比率	前年度からの増減					
平成 23 年度	工事	0	0.0	-	0	0.0	-	0	0	0	0
	物品	589	83.8	▲2.3	95,206	89.4	▲5.0	703	106,525	284	518,832
	委託	115	81.6	▲2.8	50,441	62.3	▲33.4	141	80,946	100	926,564
	合計	704	83.4	▲2.4	145,647	77.7	▲17.6	844	187,471	384	1,445,396

※ 「構成比率」はそれぞれの数値（件数又は金額）が契約実績（単独随意契約及び大規模契約を除く）に占める割合

※ 「契約実績（単独随意契約及び大規模契約を除く）」は、中小企業庁が行っている「官公需契約実績額等の調査」と同様に、競争の余地がない単独随意契約及び中小企業者の参入の余地が少なく、入札参加者を市内事業者に限定できない大規模契約（政府調達協定（WTO）対象契約）を除いたもの。

【参考資料】

市内中小企業者への発注状況（財政局契約部契約分）

	区分	契約実績（単独随意契約及び大規模契約を除く）							単独随意契約及び大規模契約の合計		
		市内中小企業契約実績						件数	金額	件数	金額
		件数	構成比率	前年度からの増減	金額	構成比率	前年度からの増減				
平成23年度	工事	0	0.0	-	0	0.0	-	0	0	0	0
	物品	38	80.9	▲7.7	19,001	25.5	▲8.2	47	74,396	16	8,725
	委託	22	84.6	▲4.3	229,081	52.4	5.0	26	437,150	23	228,627
	合計	60	82.2	▲6.7	248,082	48.5	1.6	73	511,546	39	237,352

※ 「構成比率」はそれぞれの数値（件数又は金額）が契約実績（単独随意契約及び大規模契約を除く）に占める割合

※ 「契約実績（単独随意契約及び大規模契約を除く）」は、中小企業庁が行っている「官公需契約実績額等の調査」と同様に、競争の余地がない単独随意契約及び中小企業者の参入の余地が少なく、入札参加者を市内事業者に限定できない大規模契約（政府調達協定（WTO）対象契約）を除いたもの。